

# 東環協ニュース

発行●東京都環境計量協議会

〒110-0016 東京都台東区台東 1 - 14 - 11  
ヒロキビル ヒロエンジニアリング(株)内  
TEL (03) 5812-4111  
FAX (03) 5812-4111  
MAIL [toukankyo@car.ocn.ne.jp](mailto:toukankyo@car.ocn.ne.jp)  
URL <http://www.toukankyo.org>

- ★ 第 38 回通常総会報告
  - ・ 第 38 回通常総会議事録
  - ・ 総会資料
- ★ 第 38 回通常総会後の懇親会報告
- ★ 平成 27 年度 新任者教育セミナー報告
- ★ 新役員の挨拶
- ★ 役員の役割分担
- ★ 関係機関・団体の動き
  - ・ 首都圏環境計量協議会連絡会
  - ・ (一社)神奈川県環境計量協議会
  - ・ (一社)埼玉県環境計量協議会
  - ・ 千葉県環境計量協会
  - ・ (一社)日本環境測定分析協会
- ★ 東環協からのお知らせ
  - ・ 平成 27 年度第 1 回親睦ゴルフ大会報告
  - ・ 平成 27 年度これからの主要行事予定
  - ・ 事務局からのお知らせ

## 第 38 回通常総会報告

平成 27 年 5 月 12 日(火)、第 38 回通常総会が四谷のスクワール麹町 5 階「豊の間」で開催されました。正会員 27 社のご出席をいただき、31 社の委任状と合わせ定数を充足していることから、定刻の 16 時 30 分、竹田副会長が総会の成立を宣言しました。議長には佐藤会長が選出され、五十嵐副会長により昨年度の事業報告並びに収支決算報告、今年度の事業計画・予算案の説明が行われました。今年は役員の変更期ではありませんが、3 名の役員が都合により退任され、会長推薦による新役員 2 名の交代の報告がありました。総会における各議案の審議は滞りなく進行し、17 時 40 分に総会は無事終了致しました。詳細は議事録及び総会資料をご覧ください。

### 佐藤会長の挨拶



佐藤会長挨拶

只今、ご紹介頂きました会長の佐藤でございます。総会の開催にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。本日はご多忙の中、本総会に多数ご出席賜り有難うございます。また、東京都計量検定所から山田検査課長にご来席いただき誠に有難うございます。

さて、今年の東京千鳥ヶ淵におけるソメイヨシノの満開日は、例年よりも少し早い 3 月 25 日でしたが、その後、東北地方で桜が満開となった時期に異常気象により雪が降り、桜の花に雪が積もっている映像がテレビで流れた事は皆様もご存知の事と思います。そうした異常気象の映像を見た時に、私が思い出しますの

は、昨年 9 月 27 日 11 時 52 分に御嶽山が突然噴火して登山者が犠牲になった事と、もう一つ当初 10 月 6 日に予定しておりました当会主催の技術研修会が台風 18 号の直撃による交通機関のマヒが予想された為、リスク管理の観点から当日に延期のご案内をさせて頂きました事です。

その振替講演を月末の 10 月 27 日に実施させて頂き、皆様には月末のご多忙の中、多くの方にご参加頂きました。その内容は、東京都環境科学研究所 横山 仁氏に「東京におけるヒートアイランドの実態と極端現象」、柿沼 潤一所長に「東京における微少粒子状物質 PM2.5 の現状と今後」というテーマで講演頂き、いずれも異常気象データに関するもので非常にタイムリーであったと記憶しております。

そして、現在は、箱根の大涌谷で地下マグマの動きが活発化している状況が連日テレビ報道されております。本当に日本列島の環境が大きく変化している事を実感せざる負えない状況と思えます。我々が日々行っている環境計量証明分野とは少し異なる自然科学の世界の事ではありますが、今後はこうした気象観測や自然科学といった環境計測分野の需要も高まるものと予想されます。いずれにおきましても重要な事は、適正な計量・計測技術と適正な価格の維持と思えます。本日はそうした問題について十分討議できる時間はありませんが、今年度は「都民生活の安全・安心」を支える我々の仕事が健全に発展できる環境を整備していく事業に注力したいと思っておりますので、ご協力の程、お願い申し上げます。

本日は、これより第 38 回の通常総会におきまして、平成 26 年度の事業報告と収支決算報告、並びに平成 27 年度の事業計画案と収支予算案をご審議頂く訳ですが、皆様のご活発なご意見、ご討議をお願いしたいと思います。

誠に簡単ではございますが、以上で私の挨拶とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。



<通常総会風景(1)>



<通常総会風景(2)>

東京都環境計量協議会  
平成27年度（第38回）通常総会  
議 事 録

日 時 : 平成27年5月12日（火） 16:30～17:40

場 所 : スクワール麹町（東京都千代田区麹町6-6）

出席者 : 58社（うち委任状31社）

竹田副会長が16時30分、正会員総数78社中58社の出席があり、会則第19条により総会が成立することを宣言した。


総会を開催するに当たり、最初に佐藤会長が挨拶を行った。


会則第22条に従い、会長が議長となったが、議事に入る前に会長は議事録署名人として、エヌエス環境（株）の山中夏行氏と（株）島津テクノリサーチの吉田秀司氏を指名し、両氏はこれを承諾した。


議 事

1. 第1号議案「平成26年度事業報告承認の件」及び第2号議案「平成26年度収支決算報告承認の件」について五十嵐副会長が、配布された総会資料に基づき説明した。引き続き加洲教雄監事が、平成26年度決算書について詳細に監査した結果、収支状況を正しく示していると報告した。第1号議案及び第2号議案について一括審議した結果、異議なく承認された。
2. 第3号議案「平成27年度事業計画（案）審議の件」及び第4号議案「平成27年度収支予算（案）審議の件」について五十嵐副会長が、配布された総会資料に基づき説明した後、第3号議案及び第4号議案について一括審議した結果、異議なく承認された。
3. 報告事項「役員交代の件」について  
佐藤議長より、本年度は任期途中だが、3名の理事が都合により退任されたため、会長推薦による新役員2名の提案があり、異議なく承認された。  
以上で第38回通常総会の議事が終了し、17時40分、竹田副会長の閉会の言葉で閉会した。

以上

議 長 佐藤 隆 

議事録署名人 吉田 秀司 

議事録署名人 山中 夏行 

平成 2 7 年 度

第 3 8 回

総 会 資 料

平成 2 7 年 5 月 1 2 日 (火)

東 京 都 環 境 計 量 協 議 会

## 総 会 次 第

1. 日 時 平成27年5月12日(火)  
午後4時30分
2. 場 所 スクワール麴町 5階「豊の間」
3. 総会の成立と開会宣言
4. 会長挨拶
5. 議長選出
6. 議事録署名人の選出
7. 議 案
  - 第1号議案 平成26年度 事業報告承認の件
  - 第2号議案 平成26年度 収支決算報告承認の件  
監査結果報告
  - 第3号議案 平成27年度 事業計画(案)審議の件
  - 第4号議案 平成27年度 収支予算(案)審議の件
8. 報告事項
  - 役員交代の件
9. 閉会の言葉

[第1号議案]

## 平成26年度事業報告

平成26年度は、日経平均株価が2万円台にせまる勢いもあり一部の業界では過去最高益を更新した企業も見受けられましたが、私共検査分析業界の業況は、分析単価の低価格化など収益の悪化等による一部企業の計量証明事業の廃止など、依然として厳しい状況が続いております。また昨年は、水質基準に関する省令の一部改正、労働安全衛生法施行令の一部改正等に伴い何かと対応に追われていることとお察しいたします。

このような厳しい中でも、当協議会は3月より事務局を移転し、「環境計量証明の測定・分析データの信頼性及び品質向上」、「分析技術者の技術向上」をスローガンとし、またホームページに新着情報を掲載すると共に更なる測定・分析業界の発展に寄与すべく、多くの会員企業が試薬及び機器メーカー等と交流出来るよう日々努めて参りました。

また、東京都計量検定所ほか関係官庁には、日頃よりご指導・ご協力を仰ぐと共に(一社)日本環境測定分析協会ならびに首都圏環境計量協議会連絡会、大阪環境測定分析事業者協会などの関連団体と連携を図りながら、「分析単価の適正化」の情報交換や、若手技術者を対象とした「新任者教育セミナー」の開催や技術研修会、事例発表会を開催することで会員相互の交流と技術情報習得の一端を担ってきたものと考えております。以下に、それらの詳細をご報告致します。

会員数（平成27年3月31日現在）

正会員	75社（入会1社、退会3社）
賛助会員	12社（入会3社、退会1社）
合計	87社

役員

会長 1名、副会長 2名、理事 7名、監事 1名、顧問 1名

### 1. 会議の開催

#### (1) 総会

平成26年度(第37回)通常総会

日時：平成26年5月15日（木） 16:30～17:40

場所：スクワール麹町（東京都千代田区麹町6-6）

出席者：55社（うち委任状31社）

## (2) 役員会

全体会議：5回開催

平成26年 5月15日、7月25、26日、10月6日、12月8日 及び

平成27年 3月12日

## (3) 部会会議

総務、業務、技術の3部会で、必要に応じて担当理事による会議を開催しました。

## 2. 事業活動

### (1) 新任者教育セミナー

当協議会では「環境計量に関する測定データの信頼性の向上」、また「安全・安心を提供できる技術者の育成」をスローガンとして各種技術講習会等を企画しております。今回も昨年度同様、(一社)日本環境測定分析協会関東支部との共催、並びに千葉県環境計量協会、(一社)埼玉県環境計量協議会との合同開催による『新任者教育セミナー』を実施致しました。参加者数は、東環協から16名、千環協から27名、埼環協16名の合計59名でした。

日時：平成26年6月17日(火) 10:00～17:30

場所：(一社)日本環境測定分析協会 2F研修室

内容：

講義1 (10:45～12:00)

テーマ 「労働安全衛生について」

講師 セフティレビュー 大山 喜彦 氏

講義2 (13:00～14:30)

テーマ 「環境計量の仕事とは」

講師 (一社)日本環境測定分析協会

関東支部 支部長 津上 昌平 氏

講義3 (14:45～16:30)

テーマ 「精度良い測定のために」

講師 (学)早稲田大学 環境保全センター 村井 幸男 氏

修了証授与式&名刺交換会 (16:45～17:30)

◇ 講義1では、例年通り労働安全衛生の基礎から測定業務における安全管理や労働安全衛生の進め方などについてお話がありました。聴講者からは、日常業務における労働災害発生要因と防止策の必要性や、労働災害に対する意識の重要性が分かりましたとの感想が聞かれました。



- ◇ 講義2は、環境学の歴史から地球環境問題、また環境関連法規や計量証明事業登録制度、さらには国際規格や資格取得に至るまで幅広い内容でした。聴講者からは「環境基本法」について学べたことは有意義だったとの感想が聞かれました。
- ◇ 講義3では、サンプリングの基礎から化学分析の基礎とデータの取り扱いに至るまでの講義がなされ、聴講者からはサンプリングの分析に与える影響の大きさ、精度の高い分析を行う方法を学べたとの声が多く寄せられました。
- ◇ 講義後の名刺交換会では、千環協、埼環協の参加者と共に、年齢、所属企業を越えて、それぞれ名刺を交わしつつ、仕事の情報交換をする光景が見られるなど、活気あふれる交流ができました。

## (2) 濃度、騒音・振動関係技術研修会

本年度の技術研修会は、地球温暖化を上回るスピードで進んでいると言われる「都市のヒートアイランド現象について」と、日本でも注目されている「PM2.5による大気汚染の現状について」の2題で、ご講演して頂きました。

日 時：平成26年10月27日（月） 13:30～17:00

場 所：スクワール麴町 3F 「華の間」

参加者：会員23社（45名）

内容：

第一部 （13:30～15:00）

演 題 「東京におけるヒートアイランドの実態と極端現象」

講演者 （公社）東京都環境公社

東京都環境科学研究所 調査研究科長 横山 仁 氏

- ◇ 横山氏にはヒートアイランドの実態と極端現象について詳しい解説を交えたお話を頂きました。ヒートアイランド現象の原因としては、土地利用の影響、建築物の影響、人工廃熱の影響などによるものと考えられており、今後は、更に原因を追及し、ゲリラ豪雨との関連性やその発生メカニズムの解明や事前予測の可能性などを模索していくとのことでした。

第二部 （15:30～17:00）

演 題 「東京における微小粒子状物質PM2.5の現状と今後」

講演者 （公社）東京都環境公社

東京都環境科学研究所 所長 柿沼 潤一 氏

- ◇ 柿沼氏には近年注目されているPM2.5について、最近の話題や日本と諸外国の現状、東京での推移と現状、そして今後の見通しをご講演頂きました。東京のPM2.5は、大気質が1970年代に比べて大幅に改善されたおかげで、現在では、都内によるものが11%強で、残りは他の地域からと推測されております。削減対策は、広域的連携が必要とされますが、前駆物質、生成機構ともに未解明の部分が多いの

が現状ですので、東京都環境科学研究所では、これらを解明し、効果的な大気質改善対策の提案を目的とした調査研究を実施しているとのお話でした。

### (3) 環境測定技術事例発表会

本年は特別講演①として、国立大学法人 東京農工大学農学研究院物質循環環境科学部門 高田秀重教授より「海洋漂流プラスチックによる化学物質汚染の低次・高次生態系への影響」、特別講演②として、アジア航測(株)壺岐信二氏より「海岸ノート」というテーマでご講演頂きました。

また、今回の事例発表会は、水質関係2題、大気関係2題、当協会の友好団体である大環協より1題を発表して頂き、内容も濃く質疑応答も活発に行われ、充実した発表会となりました。

日 時：平成26年11月21日（金） 10:00～19:00

場 所：スクワール麹町 5F 「芙蓉の間」

参加者：会員28社（46名）

### (4) 新春賀詞交歓会

新春賀詞交歓会を、以下の通り開催しました。

日 時：平成27年1月27日（火） 18:30～20:30

場 所：スクワール麹町 5F 「芙蓉の間」

参加者：39社（87名）

- ◇ 新年のご挨拶を佐藤会長、来賓として（一社）日本環境測定分析協会・会長である田中正廣様から頂戴した後、（一社）日本環境測定分析協会 顧問であります田畑日出男様の乾杯で新春賀詞交歓会がスタートしました。
- ◇ 歓談の途中では、株式会社島津製作所様、竹田理化工業株式会社様よりご挨拶を頂戴致しました。
- ◇ 歓談後は、恒例のビンゴ大会を行い、賞品を貰う参加者らは満面の笑みを浮かべる方々で大いに盛り上がりました。

### (5) 東環協ニュースの発行（年3回）

第156号：平成26年 8月12日

第157号：平成26年 11月27日

第158号：平成27年 2月28日

(6) 東環協メール情報サービス (9件)

メール情報提供をNo.231～No.239まで行いました。

(7) 研修見学会

本年度の東環協研修見学会も昨年同様、首都圏環境計量協議会連絡会の研修見学会として首都圏の4県単の合同開催になりました。

開催日：平成26年10月23日(木)

場 所：神奈川県水産技術センター

横浜市南部汚泥資源化センター

参加者：37名 [うち、東環協会員 18社 (23名)]

行 程：東京駅鍛冶橋・出発 → 神奈川県水産技術センター・見学 → 横浜市南部汚泥資源化センター・見学 → 横浜中華街にて懇親会、  
その後解散

- ◇ 小雨降る中、東京駅鍛冶橋駐車場を出発し、神奈川県水産技術センターに向かいました。当センターは、県内の栽培漁業推進を担い、実験水槽には様々な飼育環境を設定することができるアクアトロンシステムや、飼育データを解析するための水質モニタリング装置が設置されているとのこと。これらのデータを元に種苗生産コストの低減や生産方法の効率化を図っているそうです。
- ◇ その後、横浜市南部汚泥資源化センターに向かいました。当センターでは先端技術を取り入れ、各水再生センターで発生した汚泥をパイプラインにより集め、汚泥の減容化を図っているそうです。減容化に伴い汚泥から発生するガスを発電に用いることで、場内動力の50%程度を補っているそうです。
- ◇ 研修見学会も無事終了し、横浜中華街にて懇親会を行った後解散となりました。

(8) 首都圏環協連関連事業

首都圏環協連委員会：4回

平成26年 6月13日、9月19日、12月5日 及び 平成27年 2月19日

- ◇ 各県単の活動状況を報告し合い、当業界を取り巻く諸問題について意見交換しました。
- ◇ 環境計量証明事業団体合同研修会としまして、今回は、福岡、大阪、愛知、長野、福島、宮城、北海道の各県単と「活動報告」、「低価格問題に対する対応」について、意見交換会を行いました。

#### (9) 技術交流事業

今年度も、大阪環境測定分析事業者協会が主催する「環境測定技術事例発表会」に参加し、当協議会より1題を発表し、技術交流を深めて参りました。

開催日：平成26年9月19日(金)

発表者：(株)分析センター 長島 充、舟田 南海

演 題：「非アスベスト分析時におけるアスベスト検出事例」

#### (10) 東京都計量検定所関連事業

「都民計量のひろば」

開催日：平成26年11月1日(土)

場 所：新宿駅西ロイイベント広場

主 催：都民計量のひろば実行委員会

構成団体：東京都計量検定所、(一社)東京都計量協会、東環協等18団体

- ◇ 平成26年度の「都民計量のひろば」のメインテーマは昨年度と同様「くらしと計量」、サブテーマは「正しい計量 大きな安心」でした。
- ◇ 東環協は例年通り「環境と計量コーナー」を担当し、可燃ガス検知モニターや騒音計、放射線測定器などの測定機器を中心に展示・デモンストレーションを行いました。
- ◇ 今年も環境問題をテーマにしたクイズを行ったところ、土曜日ということもあり「環境と計量のコーナー」には500名近くの方にご参加頂きました。参加者には当会の正会員である㈱ヤクルト本社様より無償提供を頂いた、リサイクル品のオープナー、または「魚魚(とと)だより」の絵はがきをお渡し致しました。また、解答について詳しく説明を求める方々も数多く見られました。

#### (11) 平成26年度親睦ゴルフ大会

第1回(通算第28回)

開催日：平成26年7月4日(金)

場 所：ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎

参加者：15名

第2回(通算第29回) \* 首都圏合同開催

開催日：平成26年11月14日(金)

場 所：キングフィールドズゴルフクラブ

参加者：28名

(12) ホームページ

ホームページを刷新し、各種行事のご案内や東環協ニュースを掲載しています。また、環境省、経済産業省を始め、関係省庁等の情報を取りまとめ、毎月更新をしております。

今後協賛企業、会員企業の参加も検討してまいります。

以 上

[第2号議案]

本議案については、当協議会のネット規定上、公開しないこととします。

[第3号議案]

## 平成27年度 事業計画 (案)

### 1. 会議の開催

- (1) 総会 平成27年5月12日(火)
- (2) 役員会 6回程度(予定)

### 2. 事業活動

#### (1) 総務関係

- ① ニュースの発行 3回(予定)
- ② 会員名簿の発行 7月(予定)
- ③ 首都圏その他の連絡会議への参画
- ④ ホームページの更新
- ⑤ 各種資料の配付

#### (2) 技術関係

- ① 新任者教育セミナー 6月(予定)
- ② 技術研修会 10月(予定)
- ③ 環境測定技術事例発表会 11月(予定)

#### (3) 業務関係

- ① 研修見学会及び新春賀詞交歓会
  - ・研修見学会 9月(予定)
  - ・新春賀詞交歓会 平成28年1月(予定)
- ② 都民計量のひろば 11月1日(予定)
- ③ その他(各種親睦会等)
  - ・ゴルフ大会 6月、9月の2回(予定)
  - ・その他

#### (4) 官公庁その他に対する協力

- ① 東京都計量検定所が行う講習会への協力
- ② (一社)日本環境測定分析協会関東支部が行う行事への協力
- ③ その他

以上

[第4号議案]

本議案については、当協議会のネット規定上、公開しないこととします。



[報告事項]

今年度の役員構成

任期:平成 27 年 5 月総会後～平成 28 年 5 月総会まで

	役職	氏名	会社名
1	会長	佐藤 隆	(株) 分析センター
2	副会長	竹田 良平	ヒロエンジニアリング (株)
3	副会長	五十嵐 鋼	(株) 東京環境測定センター
4	理事	川東 光三	(株) トーニチコンサルタント
5	理事	田口 和男	(株) オオスミ
6	理事	小牧 博信	(株) 環境総合テクノス
7	理事	斉藤 徹	(株) 環境管理センター
8	新理事	志知 尚彦	帝人エコ・サイエンス (株)
9	新理事	井上 和之	(株) 総合環境分析
10	新監事	中村 勉	(株) 環境技術研究所
11	新監事	鈴木 幹夫	いであ (株)

## 東京都環境計量協議会 第38回通常総会 出席者名簿

来賓 東京都計量検定所 検査課長 山田 敦久 氏  
東京都環境計量協議会 顧問 三階 貴男 氏

No	会 社 名	出 席 者 名	備 考
1	いであ (株)	鈴木 幹夫	
2	エヌエス環境 (株)	山中 夏行	
3	(株) オオスミ	田口 和男、若林 武幸	
4	(株) 化学分析コンサルタント	日山 貞由紀	
5	(株) 環境管理センター	斉藤 徹	
6	(株) 環境技術研究所	中村 勉	
7	(株) 環境総合テクノス	小牧 博信、種 鎮矢	
8	(株) クレアテラ	矢久保 守	
9	(株) 産業分析センター	高橋 和志、長尾 剛州、佐藤 新	
10	(株) サンコー環境調査センター	鶴沢 茂樹	
11	(株) 島津テクノリサーチ	吉田 秀司、山崎 広	
12	新日本環境調査 (株)	川岸 邦充	
13	(株) 総合環境分析	井上 和之、安藤 弘昭	
14	ダイヤアクアソリューションズ (株)	磯部 英之	
15	帝人エコ・サイエンス (株)	志知 尚彦	
16	(株) 東京環境測定センター	五十嵐 鋼、西村 隆夫	
17	(株) 東京建設コンサルタント	川嶋 ちか子	
18	(株) トーニチコンサルタント	川東 光三	
19	(株) 日新環境調査センター	小島 邦夫	
20	日本エコテック (株)	西澤 秀男	
21	(株) 日本公害管理センター	大柄 雅浩、長岡 秀和	
22	(株) 日本シーシーエル	濱砂 眞澄	
23	ヒロエンジニアリング (株)	竹田 良平、高野 ひとみ	
24	(株) 分析センター	佐藤 隆、奥富 康浩、 野田 奈緒果	
25	(株) ユニチカ環境技術センター	加洲 教雄	
26	ユーロフィン日本環境 (株)	江口 誠一郎	
27	リオンサービスセンター (株)	富田 眞一	
28	(株) 東京科研	豊嶋 久裕	賛助
29	日本コントロールシステム (株)	田中 恵	賛助
30	ラボテック (株)	金田 耕一	賛助
31	(株) グレイス	平田 珠美	賛助

31社 42名

### 委任状

・(株) 日本線路技術・興亜開発 (株)・三立エンジニアリング(株)・(一財) 小林理学研究所・共和化工 (株)・三葉化工 (株)・(株) ジェイペック・(株) 環境技研 (板橋)・(株) 泉環境・東京都鍍金工業組合・(株) 環境技術センター・(株) 伊藤公害調査研究所・クボタ化水 (株)・那須電機鉄工 (株)・日鉄鉦コンサルタント (株)・日本板硝子環境アメニティ (株)・ドリコ (株)・八千代エンジニアリング (株)・(株) 日本分析・(株) 環境技研 (杉並)・(株) 四門・(株) 太平洋コンサルタント・開発虎ノ門コンサルタント (株)・ムラタ計測器サービス (株)・中央建鉄 (株)・(株) ヤクルト本社中央研究所附属分析センター・前田道路 (株)・環境リサーチ (株)・森永エンジニアリング (株)・(株) 総合水研究所東京支店・(一財) 日本食品分析センター

31 社

## 第 38 回通常総会後の懇親会報告

総会終了後、恒例の懇親会が 18 時から、同じくスクワール麹町の 5 階「豊栄の間」にて、会員企業 32 社 52 名、来賓 3 名の方々にご出席いただき、盛大に開催されました。来賓には東京都計量検定所 検査課長 山田敦久氏、(一社)日本環境測定分析協会 関東支部長 津上昌平氏、当協議会 顧問 三階貴男氏をお迎えしました。

司会は小牧理事が務め、佐藤会長の挨拶に始まり、来賓として東京都計量検定所山田検査課長、日環協津上関東支部長よりご祝辞をいただきました。東環協の川東理事による乾杯の発声により懇親会が始まり、それぞれ歓談しながら楽しい時間を過ごすことが出来ました。

途中、今期で理事を退任する加洲氏からの退任挨拶、新しく理事となった志知氏、井上氏からの就任挨拶があった他、賛助会員の皆様の挨拶が行われました。

宴たけなわの中、斉藤理事の音頭による中締めで、懇親会が終了しました。



<佐藤会長 挨拶>



<川東理事 乾杯>



<懇談風景>

## ご来賓の方の祝辞

東京都計量検定所 検査課長 山田敦久氏



計量検定所  
山田課長

ただいま、ご紹介にあずかりました、東京都計量検定所検査課長の山田でございます。

本日は、所長の戸谷の代理として、お伺いいたしました。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

東京都環境計量協議会の会員の皆様には、日頃より東京都計量検定所の業務に対して、多大なご支援をいただいております。

事例をあげさせていただきますと、毎年開催されている『都民計量のひろば』では、大変なご尽力をいただいております。

また、昨年度末に『計量証明事業者報告書のご提出』を依頼させていただいたこと、併せて『事業者登録情報の東京都のホームページへの掲載の可否』について同意書による事業者様のご意向の確認をさせていただきました。さらに、私どもの計量検定所では、平成25年度から環境計量証明事業者様への立入検査を行う事業者数を平成24年度までの5か年の平均と比較して、倍増させていただきました。

これらをはじめとする様々な場面におけるご協力について、この場をお借りいたしまして、厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございます。

さて、本日の通常総会の中でもご報告されておりましたが、東京都環境計量協議会様におかれましては、『技術研修会』、『事例発表会』など、様々な事業を実施され、環境計量に関する技術の向上に努めていらっしゃるの伺っております。

このような取り組みの一つひとつが、東京都環境計量協議会様の目的の中の1つにある、『社会に対して信頼性の高い環境計量データを供給することにより、環境保全に寄与し、もって安全・安心な社会の構築に貢献する。』との内容に大きく寄与していることと存じます。

このような東京都環境計量協議会様の事業は、都民の安全・安心の確保に大きく貢献されており、計量検定所のみならず、東京都といたしましても、大変心強く感じております。

東京都計量検定所は、今後とも適正計量の確保に努めてまいりますので、引き続き皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、東京都環境計量協議会の益々のご発展とご参加の皆様方のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

本日は、お招きいただき、誠にありがとうございます。



懇談の中で挨拶をされた方々



<加洲理事 退任挨拶>



<斉藤理事 中締め>

## 東京都環境計量協議会第38回通常総会懇親会 出席者名簿

**来賓** 東京都計量検定所 検査課長 山田 敦久 氏  
 (一社) 日本環境測定分析協会 関東支部長 津上 昌平 氏  
 東京都環境計量協議会 顧問 三階 貴男 氏

No	会社名	出席者名	備考
1	いであ (株)	鈴木 幹夫、海老澤 隆宏 森田 達也	
2	エヌエス環境 (株)	山中 夏行	
3	(株) オオスミ	田口 和男、若林 武幸	
4	(株) 化学分析コンサルタント	日山 貞由紀、宮本雅芳	
5	(株) 環境管理センター	斉藤 徹	
6	(株) 環境技術研究所	中村 勉、小柳 伸彦	
7	(株) 環境総合テクノス	小牧 博信、種 鎮矢 中村 香織	
8	(株) クレアテラ	矢久保 守	
9	(株) 産業分析センター	高橋 和志、長尾 剛州 佐藤 新	
10	(株) サンコー環境調査センター	鶴沢 茂樹	
11	(株) 島津テクノリサーチ	吉田 秀司、山崎 広	
12	新日本環境調査 (株)	川岸 邦充	
13	(株) 総合環境分析	井上 和之、安藤 弘昭	
14	ダイヤモンドソリューションズ (株)	磯部 英之	
15	帝人エコ・サイエンス (株)	志知 尚彦、江島 淳平	
16	(株) 東京環境測定センター	五十嵐 鋼、西村 隆夫 佐藤 伸彦	
17	(株) トーニチコンサルタント	川東 光三	
18	(株) 日新環境調査センター	小島 邦夫	
19	日本エコテック (株)	西澤 秀男	
20	(株) 日本公害管理センター	大柄 雅浩、長岡 秀和	
21	(株) 日本シーシーエル	濱砂 眞澄	
22	ヒロエンジニアリング (株)	竹田 良平、久木元 威仁 高野 ひとみ	
23	(株) 分析センター	佐藤 隆、奥富 康浩 野田 奈緒果	
24	ユニチカ環境技術センター	加洲 教雄	
25	ユーロフィン日本環境 (株)	江口 誠一朗	
26	(株) 東京科研	豊嶋 久裕	賛助
27	日本コントロールシステム (株)	田中 恵	賛助
28	ビーエルテック (株)	赤沼 英雄、岡野 勝樹	賛助
29	松田産業 (株)	吉川 栄一	賛助
30	(株) ミカミ	三上 淳子	賛助
31	ラボテック (株)	金田 耕一	賛助
32	(株) グレイス	平田 珠美	賛助

参加者総数 来賓 3名 会員 32社 52名 計 55名

## 平成27年度 新任者教育セミナー報告

当協議会では今年度も「環境計量測定データの信頼性の向上」を目的として各種技術講習会等を企画してまいりますが、その一環として昨年に引き続き日環協関東支部との共催で、新任者や若手分析技術者を対象とした『新任者教育セミナー』を開催いたしました。第8回目の開催となる今年度は(一社)神奈川県環境計量協議会が加わり一都三県の合同開催となり、ほぼ満席の81名(東環協:24名、千環協:26名、埼環協:16名、神環協15名)と多くの方にご参加いただきました。

日時 : 平成27年6月24日(水) 10:00~17:30

場所 : (一社)日本環境測定分析協会 2階研修室

講義1「労働安全衛生について」 (10:45~12:00)

講師 : セフティレビュー 大山 喜彦氏



### 〔講義概要〕

1. 労働災害発生状況
2. 労働安全衛生法とは
3. 安全衛生管理体制
4. 災害発生の仕組みと災害原因
5. ハインリッヒの1:29:300の法則
6. 労働安全衛生マネジメントシステム(O SHMS)とリスクアセスメント
7. これからの化学物質管理の考え方
8. 危険予知訓練と指差呼称

### 〔参加者の感想〕

- 職場の安全意識を高めるうえで、非常に為になったと思います。
- 職場に慣れてきて気が緩んでいたもので、今一度「安全」を意識することができました。
- アメリカのドキュメンタリー番組でやっていたMICによる工場の事故を思い出し、改めて理解できました。
- 普段は分析業務のみに携わっているので、このように広い知識を付ける場に参加できてよかったです。

講義2「環境計量の仕事とは」 (13:00~14:30)

講師：(株)佐々木環境技術事務所 代表取締役 佐々木克典氏



〔講義概要〕

1. 環境とは、環境学について
2. 環境問題への取組みの歴史
3. 地球環境問題
4. 環境関連法規
5. 計量法と事業登録制度
6. 国際規格
7. 資格取得

〔参加者の感想〕

- 計量士の大切さ、学び考える大切さを改めて教えて頂いたと思います。
- 信頼性のあるデータを提供するために、目的を知ることの大切さを感じることができました。
- 環境計量証明事業に携わっていく者としての心構えや、分析を行う上での注意点など、今後仕事を行っていく上でとても参考になる内容でした。
- 計量に関わる法規をまとめて知ることができたので、とても参考になりました。

講義3「精度良い測定のために」 (14:45~16:15)

講師：(学)早稲田大学 環境保全センター 村井幸男氏



〔講義概要〕

1. サンプリングの基礎
2. 環境測定に関する化学分析の基礎
3. データの取り扱い

〔参加者の感想〕

- 特に外れ値の推定が具体例を挙げており、今後外れ値が出た場合の参考になるのではないかと思います。
- 現在、主にサンプリング業務を行っているので、分析結果の根幹がサンプリングにあることの再認識をすることができました。



○分析結果の信ぴょう性や前処理による誤差など、分析値のばらつきの要因について考察できるよう、統計について学びたいと思いました。

○精度管理は統計に苦手意識もあり取りかかりにくい分野でしたが、今後学習していく上で  
の良い参考となりました。検量線の話などはすぐに実務で生かしていきたいと思います。

セミナー終了後、東環協、千環協、埼環協、神環協にそれぞれ分かれて、修了証の授与式が行われました。授与式後の名刺交換会は、入社間もない参加者にとっては名刺交換の練習という面もあり、活発にディスカッションを行っていました。限られた時間内での講義では質問時間にも限りがあり、名刺交換会では講師の方に積極的に質問する参加者の姿も見受けられ、お互い話題にも事欠かず一時間と短い時間では物足りないようでした。

また、今回も参加者の皆さんにはアンケートをお願いしました。講義についての感想は、講師の方々にフィードバックするとともに、その一部は上記、記事に掲載いたしました。参加者の方の貴重なご意見・ご要望については、今後の東環協の運営に反映させていただきます。



<受講風景>



<修了証授与式>



<名刺交換会 (1) >



<名刺交換会 (2) >

## 平成27年 新任者教育セミナー 参加者名簿

平成27年6月24日(水)

於 (一社) 日本環境測定分析協会 研修室

### 講師

セフティレビュー	大山 喜彦氏
(株)佐々木環境技術事務所	佐々木 克典氏
(学)早稲田大学 環境保全センター	村井 幸男氏

### 会員

No	会社名	氏名	備考
1	いであ(株)	木村 健一	
2	(株)化学分析コンサルタント	山口 諄	
3	(株)環境管理センター	竹治 みゆ	
4	(株)環境管理センター	横山 咲	
5	(株)環境管理センター	井出 祐介	
6	(株)環境管理センター	上条 憂紀	
7	(株)環境管理センター	山崎 龍哉	
8	(株)環境管理センター	祝 浩洋	
9	(株)サンコー環境調査センター	清水 萌子	
10	(株)サンコー環境調査センター	坂本 英理子	
11	(株)四門	齊藤 晃紀	
12	(株)四門	永瀬 廣生	
13	(株)総合水研究所	北郷 雄基	
14	帝人エコ・サイエンス(株)	島田 未来	
15	帝人エコ・サイエンス(株)	清本 太郎	
16	帝人エコ・サイエンス(株)	大場 貴史	
17	(株)日本シーシーエル	黒澤 勝彦	
18	ヒロエンジニアリング(株)	星野 克幸	
19	ヒロエンジニアリング(株)	宮本 舜也	
20	芙蓉化学工業(株)	岡 里美	
21	芙蓉化学工業(株)	奥 理尋	
22	(株)分析センター	雁部 裕介	
23	(株)分析センター	清水 智夫	
24	(株)分析センター	杉山 達也	

11社 24名

## 新役員の挨拶

平成 27 年度は役員の改選期ではありませんが都合により下記の 3 名の方が退任され、さらに、小牧理事が都合により 6 月末で退任いたしました。東環協の運営、発展にご尽力くださりまして、誠にありがとうございました。

皆様のご健勝と益々のご繁栄をお祈り申し上げます。

- ・理事 : 谷口 新吾 帝人エコ・サイエンス(株)
- ・監事 : 加洲 教雄 (株)ユニチカ環境技術センター
- ・監事 : 吉永 一男 三洋テクノマリン(株)
- ・理事 : 小牧 博信 (株)環境総合テクノス

役員の退任に伴い、5 月理事会において新役員の選任があり、志知氏、井上氏、2 名の方が新たに役員として承認されました。また、小牧理事の後任として 7 月の理事会において池田氏が理事として承認されました。

- ・理事 : 志知 尚彦 帝人エコ・サイエンス(株)
- ・理事 : 井上 和之 (株)総合環境分析
- ・理事 : 池田 達也 (株)日本分析

新しく役員になられました各氏に、今後の抱負を含めご挨拶をいただきました。

### 志知 尚彦 理事 [帝人エコ・サイエンス(株)]



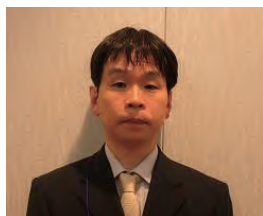
志知理事

この度、谷口新吾氏の後任として東京都環境計量協議会理事を拝命いたしました、帝人エコ・サイエンス株式会社営業統括室の志知尚彦でございます。

前理事の谷口が定年退職につき本年より担当させていただきました。東京都環境計量協議会の今まで培われてきた実績と信頼を踏まえ、今後も計量証明事業の振興ならびに本会のさらなる発展のために微力を尽くしてまいりたいと存じますので、皆様方のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

思い返してみますと、私がこの環境計量事業・環境調査業の業界に入ったのは平成 5 年ごろであり、当時はまだダイオキシン類の測定技術も一般的ではなく、他の環境因子も測定方法が定まらない頃の時期でありました。その後二十数年が経過し、種々の環境法令等が出来上がった、大切な時期に私は同協会の理事を拝命したことになります。会員企業の皆様方や先輩理事の皆様のお役にたてるよう努力して参る所存です。宜しく申し上げます。

井上 和之 理事 [ (株) 総合環境分析 東京技術センター ]



井上理事

この度、役員の退任に伴い、5月の理事会におきまして、理事に選任されました(株)総合環境分析 東京技術センターの井上でございます。伝統のある東京都環境計量協議会の理事という大役を任命いただき、責任の重さを痛感しております。よろしくお願い致します。

私は現在、技術として飲料水検査の計量管理に励んでいます。当協議会におきましては、比較的営業の立場の方々の参加が多いような気がしていました。そこで、理事の職務を通して、会員並びに協賛企業の方々と交流を深め、技術的な情報交換の機会を持てればと考えております。

池田 達也 理事 [ (株) 日本分析 ]



池田理事

この度、第38回総会の後ではありますが、前任者の退任に伴い、急遽理事に就任することとなりました(株)日本分析の池田でございます。弊社は、昭和45年の創立以来、「分析を通じて環境保全の一翼を担う」ことが私たちに与えられた大切な社会的使命であるとの経営理念のもと、水質分析を中心に活動してまいりました。また、当協議会の会員となったのは昭和53年のことですが、研修会や情報交換会等の開催を通して、社員が技術・知識を吸収する場を提供していただき、協議会の活動のおかげで弊社の成長があったと言っても過言ではありません。

この度は理事として、このように立派な協議会の運営に携われることに喜びを感じ、希望に満ちております。また、同時に伝統のある東京都環境計量協議会の理事という大役を仰せつかり、責任の大きさをひしひしと感じております。

まだまだ未熟者であり、至らぬところも多くあるかは存じますが、少しでも役員・会員皆様のお役に立てるように尽力してまいりますので、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

## 役員の役割分担

平成27年度は、下記のような役員の役割分担で事業を進めて参ります。

	佐藤	竹田	五十嵐	川東	田口	斉藤	志知	井上	池田	鈴木	中村	三階
役員会議事録				◎		○	○					
ホームページ管理			◎					○	○	○		
資料作成管理		○	○									◎
会員名簿管理		○										◎
首都圏連絡委員会	◎	○									○	
東環協ニュース				◎		○			○	○		
官庁関係挨拶等	◎	○	○							○		
新任者教育セミナー	○	◎	○									
日環協関東支部セミナー	◎	○	○									
研修見学会					○	◎			○		○	
大環協事例発表会	◎		○									
技術研修会	○		◎			○	○	○	○	○		
事例発表会	○		◎			○	○	○	○	○		
都民計量のひろば		○			○		◎	○			○	
懇親会（ゴルフ、その他）		○			◎						○	
新春懇親会	○	◎	○									
総会	○	◎	○									
会計監査	○	○	○							◎	○	○
役員研修会	○	◎	○									
事務局		◎										○

◎主担当 ○担当

## 関係機関・団体の動き

平成 27 年 7 月現在で、既に実施または今後予定されている関係機関及び団体の動きは、以下のとおりです。

- 首都圏環境計量協議会連絡会
  - ・ 第 1 回委員会 6 月 4 日 中外テクノス(株)東京支店
  - ・ 第 2 回委員会 9 月 2 日 中外テクノス(株)東京支店
  - ・ 首都圏見学研修会 9 月 予定
  
- (一社)神奈川県環境計量協議会
  - ・ 第 40 回通常総会 5 月 8 日 かながわ労働プラザ
  - ・ 親睦会 5 月 29 日 上総モナークカントリークラブ
  - ・ 新任者セミナー (日環協共催) 6 月 24 日 (一社) 日本環境測定分析協会
  
- (一社)埼玉県環境計量協議会
  - ・ 第 39 回通常総会 5 月 29 日 大宮サンパレス
  - ・ 新任者セミナー (日環協共催) 6 月 24 日 (一社) 日本環境測定分析協会
  
- 千葉県環境計量協会
  - ・ 第 39 回通常総会 4 月 17 日 プラザ菜の花
  - ・ 新任者セミナー (日環協共催) 6 月 24 日 (一社) 日本環境測定分析協会
  - ・ ソフトボール大会 7 月 11 日 稲毛海浜公園
  
- (一社)日本環境測定分析協会
  - ・ 日環協通常社員総会 5 月 22 日 タワーホール船堀
  - ・ 第 26 回日環協・関東支部  
環境セミナー in YOKOHAMA 7 月 23～24 日 ホテルニューグランド
  - ・ 第 23 回日環協・環境セミナー  
全国大会 in 大津 by 琵琶湖 10 月 8～9 日 大津プリンスホテル

## 東環協からのお知らせ

### ○平成 27 年度第 1 回（通算第 30 回）親睦ゴルフ大会報告

準備万端整えたつもりでしたが、幹事の怠慢で好天を予約するのを忘れていました。当日は朝から雨でしたが、誰一人欠席することもなく御集合いただきました。雨の小振りな時を見計らってスタートしましたが、グリーンが水浸しでボールが転がらず、ゴルフに成らず、あえなく中止となりました。



過去に 29 回開催しておりますが、中止は今回が初めてです。雨の中、朝早くからお集まりいただいた方々には誠に申し訳ございませんでした。

次回は首都圏合同で 10 月頃開催予定です。今回の件に懲りず、またご参加頂ければと思います。

### ○平成 27 年度これからの主要行事予定

- |  |                  |
|--|------------------|
| ・研修見学会   | 9 月 11 日(金)      |
| ・技術研修会   | 10 月 6 日(火)      |
| ・平成 27 年度第 2 回（通算第 29 回）親睦ゴルフ大会<br>（首都圏環協連と合同開催） | 10 月 23 日(金)     |
| ・都民計量のひろば  | 11 月 1 日(日)      |
| ・環境測定技術事例発表会                                     | 11 月 6 日(金)      |
| ・賀詞交歓会   | 平成 28 年 1 月 中旬予定 |

### ○事務局からのお知らせ

- ・会員の動き（第158号（2月28日発行）以降の会員動向を掲載）

#### 入会された会員

会員区分：正会員

会員名：ダイヤアクアソリューションズ株式会社

代表者：取締役社長 山田 精司

連絡担当者：分析グループ 磯部 英之

TEL：03-3627-9548， FAX：03-3627-9653

#### 社名変更された会員

会員区分：正会員

会員名：【旧】株式会社ユニチカ環境技術センター

【新】株式会社環境総合リサーチ

代表者：代表取締役 杉山 裕

HPアドレス：<http://www.ctiers.co.jp/index.html>

現在の会員数（平成27年7月現在）

正会員	74社		
賛助会員	12社	合計	86社

・編集後記

遅くなりましたが、第38回通常総会と懇親会、新任者教育セミナーを中心に編集した、平成27年度の最初の「東環協ニュース」第159号を発行いたしました。

今年度も東環協の情報発信のために編集担当者として微力ながら尽力していきたいと思えます。今後ともよろしく願いいたします。

役員一同の協力もあり「東環協ニュース」第159号が無事に完成しましたので皆様にお届けいたします。今後も会員の皆様のご協力を得ながらより良いものにしたいと思います。「東環協ニュース」に関するご意見、ご感想等がありましたら、事務局、役員まで気軽にご連絡ください。宜しく願い申し上げます。